

地域の概況・課題等 亀崎小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
11,020人	11,020人	100.0%	119,987人
15歳以下	1,561人	14.2%	16,964人
16～64歳	6,791人	61.6%	74,255人
65歳以上(高齢者)	2,668人	24.2%	28,768人
一人暮らし高齢者	654人	5.9%	6,845人
要介護認定者	434人	3.9%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ485人	—	延べ5,571人
外国人	408人	3.7%	4,296人
世帯	4,533世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	1,174世帯	25.9%	12,368世帯
			23.9%

(2) 地域の課題等

地域サロン等での住民の聞き取り等を基に地域課題を抽出しました。

- ・古くからある拠点を活用する高齢者や山車組を通しての地域のつながりは強いが、若い世代になるに従い、これまでより希薄になりつつある。
- ・高齢化に伴い、困りごと（認知症、独居等）を抱える高齢者が増加している。
- ・認知症の対応が分からず、これまでの関係が続けづらいと感じる方が増加している。
- ・独居高齢者等の困りごとをささえる人材の高齢化が進んでいる。
- ・老人クラブが衰退化し、地域とのつながりが希薄になってきている。

地域の概況・課題等 有脇小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
2,498人	2,498人	100.0%	119,987人
15歳以下	384人	15.3%	16,964人
16～64歳	1,337人	53.5%	74,255人
65歳以上(高齢者)	777人	31.1%	28,768人
一人暮らし高齢者	173人	6.9%	6,845人
要介護認定者	148人	5.9%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ148人	—	延べ5,571人
外国人	23人	0.9%	4,296人
世帯	993世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	341世帯	34.3%	12,368世帯
			23.9%

(2) 地域の課題等

地域特性が自治区で異なるため、それぞれの自治区単位で行う地域行事やサロン、また、自治区の役員会等に参加し、地域課題の集約を行いました。

- 有脇一区…「つながり」の強い地域性。
- ・困りごとについては「家族・親族で解決する」という認識が強い。そのため、近隣のことを気にかけてはいるが、早い段階から地域間が連携して支援を行うことは難しい。
- ・商店や病院等が少なく、車に乗れない高齢者にとっては生活しづらい。
- 緑ヶ丘区…市営住宅は入り人が多く、若い世代は一時的な棲家、高齢者等は終の棲家とする場合が多い。
- ・自治区等が行うイベントにも住民の参加が少なく、顔のつなげる関係を作ることが難しい。
- ・子どもが少ないため、同年代の友だちが地域で作りにくい。

地域の概況・課題等

乙川小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
11,198人	11,198人	100.0%	119,987人
15歳以下	1,564人	14.0%	16,964人
16～64歳	6,955人	62.1%	74,255人
65歳以上(高齢者)	2,679人	23.9%	28,768人
一人暮らし高齢者	606人	5.4%	6,845人
要介護認定者	473人	4.2%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ531人	—	延べ5,571人
外国人	551人	4.9%	4,296人
世帯	4,746世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	1,112世帯	23.4%	12,368世帯
			23.9%

(2) 地域の課題等

地区内で活動されている地域サロン等を訪問、「ふくし井戸端会議」として地域課題についての聞き取りや意見交換等を行いました。

- 身近な地域の居場所について
- ・ 自家用車の運転ができなくなった場合等を想定し、歩いていける範囲内に、気軽に参加することができる居場所が欲しい。
- ・ 子育て世代等誰もが気軽に参加しやすい雰囲気づくりを進めたい。
- ・ 認知症の方等が地域の方と一緒に活躍できる場となるとよい。

- 地域での見守りにについて
- ・ 認知症によるひとり歩き高齢者等について、身近な地域住民や地域サロン等で活躍する方が日頃から心配し見守りを行っている。
- ・ 乙川交番でも、地域とともに日頃から気にかけて、話をしたり相談を受けたりしながら見守りを行っている。
- ・ 必要があれば専門機関等へつないでもらえるような地域づくり、顔のつながる関係づくりが進んでいる。

地域の概況・課題等

横川小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
11,094人	11,094人	100.0%	119,987人
15歳以下	1,587人	14.3%	16,964人
16～64歳	7,011人	63.2%	74,255人
65歳以上(高齢者)	2,496人	22.5%	28,768人
一人暮らし高齢者	544人	4.9%	6,845人
要介護認定者	376人	3.4%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ569人	—	延べ5,571人
外国人	733人	6.6%	4,296人
世帯	4,697世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	1,031世帯	22.0%	12,368世帯
			23.9%

(2) 地域の課題等

地区内で活動されている地域サロン等を訪問、「ふくし井戸端会議」として地域課題についての聞き取りや意見交換等を行いました。

- 外国籍の方が運営する店舗での外国籍の方の相談等支援について
- ・ 市役所や学校からの文書等の翻訳を頼まれる。
- ・ 身近なトラブル（ごみ出し等）の相談がある。
- ・ 外国籍の方は市役所等の相談窓口を知らないことが多い。
- 外国籍の方との地域交流について
- ・ 市営大高住宅内では、言語の違いによるコミュニケーションが課題。住民のみなさんが自分たちでできる取組の検討が必要と考えている。
- 地域での多世代交流について
- ・ ふくし共育をきっかけに、障がい、高齢者等地域で活躍する方が横小まつりへ作品展示を行い、地域と子ども、保護者等がつながる機会となった。
- 地域の住民同士の助け合いについて
- ・ 地域が抱える困りごとに対して、住民同士が協力しながら、解決への取組を実施することができた。

地域の概況・課題等 半田小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)

人口	地域	構成比	市全体	構成比
15歳以下	8,896人	100.0%	119,987人	119,987人
16～64歳	1,135人	12.8%	16,964人	14.1%
65歳以上(高齢者)	5,569人	62.6%	74,255人	61.9%
一人暮らし高齢者	2,192人	24.6%	28,768人	24.0%
要介護認定者	565人	6.4%	6,845人	5.7%
障がい者手帳取得者	408人	4.6%	4,830人	4.0%
外国人	延べ404人	—	延べ5,571人	—
世帯	289人	3.2%	4,296人	3.6%
高齢者のみの世帯	4,114世帯	100.0%	51,741世帯	51,741世帯
	953世帯	23.2%	12,368世帯	23.9%

(2) 地域の課題等

令和元年8月から10月にかけて、地区内で活動されている地域サロン等を訪問、「ふくし井戸端会議」として地域の課題等についての聞き取りや意見交換を行いました。

- ・(困りごとがあっても)わざわざ市役所には相談に行かない。
- ・(困っている人を見つけても)自分が関わっていいのかわからない。声を掛けようか迷う。
- ・(発達に課題のある子は)声掛けてパニックになることもある。声掛けが常に良いとは限らない。
- ・(地域サロン等は)誘ってくれる人がいないと参加しづらい。



地域の概況・課題等 乙川東小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)

人口	地域	構成比	市全体	構成比
15歳以下	8,694人	100.0%	119,987人	119,987人
16～64歳	1,379人	15.9%	16,964人	14.1%
65歳以上(高齢者)	5,244人	60.3%	74,255人	61.9%
一人暮らし高齢者	2,071人	23.8%	28,768人	24.0%
要介護認定者	398人	4.6%	6,845人	5.7%
障がい者手帳取得者	357人	4.1%	4,830人	4.0%
外国人	延べ383人	—	延べ5,571人	—
世帯	465人	5.3%	4,296人	3.6%
高齢者のみの世帯	3,620世帯	100.0%	51,741世帯	51,741世帯
	828世帯	22.9%	12,368世帯	23.9%

(2) 地域の課題等

令和元年7月30日(火)、10月28日(月)の2回、平地公民館において「ふくし井戸端会議」を開催し、この地域の課題について話し合いました。地域の居場所に関する課題等が挙げられ、公民館長や地域の方と引き続き話し合いを継続しています。

- ・身近な地域に気軽に集まることのできる居場所が少なく、地域の方とのつながりづくりを大切にしたい。
- ・地域サロン等に顔を出してもらえない方が参加しやすい工夫を考えたい。
- ・若い世帯が増えているが、多世代間の交流は少ない。
- ・外国籍の方が増えており、コミュニケーション方法等、今後の対応を検討したい。
- ・道幅が狭く歩行者が危ない場所等があり、地域での見守りが必要。
- ・バスが通っておらず、買い物や病院等への移動が大変。
- ・空き家が増えてきており、管理等が課題。
- ・空き家を有効活用した取り組みを検討したい。

地域の概況・課題

さくら小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
15歳以下	787人	12.7%	119,987人
16～64歳	4,090人	66.1%	16,964人
65歳以上(高齢者)	1,315人	21.2%	74,255人
一人暮らし高齢者	302人	4.9%	28,768人
要介護認定者	208人	3.4%	6,845人
障がい者手帳取得者	延べ292人	—	延べ5,571人
外国人	671人	10.8%	4,296人
世帯	2,794世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	552世帯	19.8%	12,368世帯

(2) 地域の課題等

令和元年9月から11月にかけて、地区内で活動されている地域サロン等を訪問、「ふくし井戸端会議」として地域課題についての聞き取りや意見交換等を行いました。

- ・サロンの参加者や地域の担い手等の高齢化
- ・地域での居場所や相談先が小学校区内に多い数あるが相談役が高齢化している。
- ・クリニック(町医者)が少ない。
- ・外国人の増加に伴う対応ができていない。
- ・移動手段があまりない。(車が必要)
- ・区の行事が多い(瑞穂区)ので、参加すれば顔なじみになるが、参加しないと地域の同士の関わりが少ない。



地域の概況・課題

岩滑小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
15歳以下	1,101人	14.0%	119,987人
16～64歳	4,684人	59.5%	16,964人
65歳以上(高齢者)	2,085人	26.5%	74,255人
一人暮らし高齢者	445人	5.7%	28,768人
要介護認定者	350人	4.4%	6,845人
障がい者手帳取得者	延べ375人	—	延べ5,571人
外国人	206人	2.6%	4,296人
世帯	3,304世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	854世帯	25.8%	12,368世帯

(2) 地域の課題等

令和元年8月から9月にかけて、地区内で活動されている地域サロン等を訪問、「ふくし井戸端会議」として地域課題についての聞き取りや意見交換等を行いました。

- ・サロン実施場所や相談先等地域の居場所への移動手段が少ない。
- ・新しい住人との関わりが少ない。
- ・地域のイベント等に若い世代の参加が少ない。
- ・困っている人を把握しているが、関わり方がわからない。
- ・自分が困っていても、身内で解決しようとする傾向がある。(頼りたがらない人もいる)



地域の概況・課題等 雁宿小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
15歳以下	7,480人	100.0%	119,987人
16～64歳	1,092人	14.6%	16,964人
65歳以上(高齢者)	4,482人	59.9%	74,255人
一人暮らし高齢者	1,906人	25.5%	28,768人
一人暮らし高齢者 要介護認定者	431人	5.8%	6,845人
要介護認定者	285人	3.8%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ282人	—	延べ5,571人
外国人	163人	2.2%	4,296人
世帯	3,267世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	856世帯	26.2%	12,368世帯
			23.9%

(2) 地域の課題等

令和元年7月から10月にかけて、地区内で活動されている地域サロン等を訪問、「ふくし井戸端会議」として地域の課題等についての聞き取りや意見交換を行いました。

- ・高齢者や障がい者の中には、困りごとがあってもどこに相談していいかわからない人が多い。
- ・(何らかの支援が必要でも) 民生委員や支援員などを受け入れない人もいる。
- ・(地域サロン等は) 知り合いがいらないと参加しづらい。
- ・同じ町内でも顔見知りでない人がたくさんいる。
- ・せめて隣人とのつながりが必要である。



地域の概況・課題等 成岩小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
15歳以下	7,002人	100.0%	119,987人
16～64歳	979人	14.0%	16,964人
65歳以上(高齢者)	4,162人	59.4%	74,255人
一人暮らし高齢者	1,861人	26.6%	28,768人
一人暮らし高齢者 要介護認定者	527人	7.5%	6,845人
要介護認定者	379人	5.4%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ352人	—	延べ5,571人
外国人	166人	2.4%	4,296人
世帯	3,145世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	858世帯	27.3%	12,368世帯
			23.9%

(2) 地域の課題等

成岩小学校区では、令和元年7月～10月に「ふくし井戸端会議」を開催し、この地域の課題について話し合いました。また、自治区やサロン、老人会等へ出向き、直接聞き取りを行いました。

- ・認知症カフェやサロン、こども食堂といった地域住民の居場所はあるものの、本来必要としている(来てほしい)住民に情報が届いていない。
- ・何かしらの支援が必要と思われる住民が、福祉サービス等を拒否し、支援に繋がらないことがある。伴走的な支援ができると良い。
- ・居場所や相談先に関する効果的な情報提供方法、団体同士で情報交換できる場作りの検討が必要。
- ・海抜が低い地区があるが自主防災組織がないため、要支援者への避難行動支援の方策が必要。

地域の概況・課題等 宮池小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
15歳以下	16,061人	100.0%	119,987人
16～64歳	2,377人	14.8%	16,964人
65歳以上(高齢者)	10,376人	64.6%	74,255人
一人暮らし高齢者	3,308人	20.6%	28,768人
一人暮らし高齢者 要介護認定者	799人	5.0%	6,845人
要介護認定者	555人	3.5%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ623人	—	延べ5,571人
外国人	265人	1.6%	4,296人
世帯	6,767世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	1,433世帯	21.2%	12,368世帯

(2) 地域の課題等

宮池小学校区では、令和元年7月～10月に「ふくし井戸端会議」を開催し、この地域の課題について話し合いました。また、自治区やサロン、老人会等へ出向き、直接聞き取りを行いました。

- ・区画整理以降転入者が増え、市内でも比較的高齢者世帯の割合が低い地域ではあり、現時点では支援を必要としていない住民が多いため、住民同士の関わり合いが少ない。そのため、若い世代が高齢者になったときの次世代の地域躍進の担い手不足が懸念される。
- ・支援者から見ると支援が必要な方でも、そのことに気づいておらず支援に繋がらないことがある。
- ・サロン等の地域住民の居場所が少ない。

地域の概況・課題等 花園小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)			
人口	地域	構成比	市全体
15歳以下	15,342人	100.0%	119,987人
16～64歳	2,183人	14.2%	16,964人
65歳以上(高齢者)	9,840人	64.2%	74,255人
一人暮らし高齢者	3,319人	21.6%	28,768人
一人暮らし高齢者 要介護認定者	777人	5.1%	6,845人
要介護認定者	473人	3.1%	4,830人
障がい者手帳取得者	延べ690人	—	延べ5,571人
外国人	242人	1.6%	4,296人
世帯	6,763世帯	100.0%	51,741世帯
高齢者のみの世帯	1,427世帯	21.1%	12,368世帯

(2) 地域の課題等

花園小学校区では、地域サロン等へ直接出向き、平成30年度に実施したささえあい活動計画策定に係るアンケートのフィードバックをしながら、この地域の困りごとや居場所について情報収集・聞き取りを行い、地域課題等について抽出しました。

- ・地域内で三世代交流をしたり、高齢者のボランティア活動が盛んであつたりと、自主的に地域住民同士でささえあう体制がある地区。そのため「どのようになささえあっているか」の実情把握が難しく、課題が見えづらい。
- ・高齢者によるクラブ活動は盛んであるが、活動に参加していない・できていない高齢者の居場所や日頃の活動の把握が難しい。新規参加者がおらず、定年退職した世代が活動の場を探している様子が見られる。
- ・名鉄線の西側と東側とで世帯数や地域活動場所に差があり(西側が盛んである)地区によってはこどもや高齢者の居場所がない。

地域の概況・課題等 板山小学校区

(1) 地域の概況

(令和元年9月1日現在)

人口	地域	構成比	市全体	構成比
15歳以下	835人	12.6%	16,964人	14.1%
16～64歳	3,714人	55.9%	74,255人	61.9%
65歳以上(高齢者)	2,091人	31.5%	28,768人	24.0%
一人暮らし高齢者	624人	9.4%	6,845人	5.7%
要介護認定者	384人	5.8%	4,830人	4.0%
障がい者手帳取得者	延べ437人	—	延べ5,571人	—
外国人	114人	1.7%	4,296人	3.6%
世帯	2,998世帯	100.0%	51,741世帯	51,741世帯
高齢者のみの世帯	949世帯	31.7%	12,368世帯	23.9%

※15歳以下の構成比が全小学校区で一番低く、65歳以上の構成比が全小学校区で一番高い

(2) 地域の課題等

板山小学校区では、地域サロンや老人会へ直接出向き、平成30年度に実施したささあい活動計画策定に係るアンケートのフィードバックをしながら、この地域の困りごとや居場所について情報収集・聞き取りを行い、地域課題等について抽出しました。

- ・高齢者世帯数は市内で一番多いため、認知症予防や防災減災対策等、高齢者向けの井戸端会議等、引き続き対策していく必要がある。
- ・高齢者人口に比べ、15歳以下の若者人口は全小学校区で一番低いため、将来の地域をささえる担い手不足が懸念される。
- ・高齢者になり、車に乗れなくなると買い物・通院が不安な地区がある。
- ・地域に根差した高齢者・障がい者施設があり、井戸端会議では認知症理解に努める等、福祉分野に強いまちづくりに取り組んでいる地域。こうした情報を知らない高齢者や障がい者に向けた有効的な情報提供の方策が必要。